

学校教育について



星 雅人 議員

一般質問



伊賀 純 議員

新年度市政の  
取り組みについて

**質問**…中学校部活動について①

中学校の部活動の全員加入について伺います。②入りたい部活動が中学校にない生徒への対応を伺います。③放課後に部活動以外の活動に取り組んでおり、部活動加入を希望しない生徒への対応を伺います。

**答弁**…①の中学校部活動の全員加入及び②の入りたい部活動が中学校にない生徒への対応につ

いては、市の現状として、全ての中学校において全員が部活動に加入することになっています。

就学予定の中学校に加入したい部活動がない場合には、通学指定校変更手続を行い、運動部、プラスバンドに限り、当該部活動のある市内中学校に進学することが可能となっています。金銭面で負担の大きい部活動に関しては、家庭環境を考慮した上

で、可能な限り学校にある活動用具の貸出しを行っている部活動もあります。次に、③の放課後に部活動以外の活動に取り組んでおり、部活動加入を希望しない生徒への対応は、スポーツクラブ等に参加し、放課後や土日の活動に参加できない生徒に

対して、生徒本人や保護者と各部の顧問が話し合いながら、個別の対応を取っています。

**質問**…中期財政計画や行革大綱

も定め、しっかり計画が作られているが、市政執行のどこが今日の財政危機を招いたのか伺う。

**答弁**…新庁舎や各小中学校改築、クリーンセンターや最終処分場の事業をやらなければいざれ次に大きな負担が掛かってきます。

**質問**…結果的に財政状況が余り良くないなら健全化に向け独立

した包括的財政再建計画を策定

し今後の財政節度や事業の整理統合、優先順位の見直し等をまとめるべきと思うが認識を伺う。

**答弁**…計画経済の提言は肝に銘じ今後政策の中で検討してまいりたい。

**質問**…経済的背景等の教育格差は最大限排除すべく給食費無料化は意義ある貴い取り組みだが、自らの公約だから聖域として、

財政の厳しさを予見しながら、

決断の先送りにより、市民サービスへのしわ寄せに繋がったのではないか認識を伺う。

**答弁**…給食費無料化は、2億を超える金額だから財政逼迫の要因かもしれないが、それだけではなく大企業誘致の補助金もこれに匹敵する金額になった。財政が厳しいので、20%負担して

くださいとお願いした。